



碧の風

千葉市立川戸中学校
校報 第7号
令和5年11月20日

冬が来る前に

校長 板垣 章子

半年かけて育てた菊花が校門沿いを美しく彩り、秋の深まりを感じさせています。朝の冷え込みが一気に増し、マフラー姿で登校する生徒を見かけるほどとなりました。

10月21日には、秋の一大イベントである「碧祭」が青葉の森公園の芸術文化ホールで行われました。多くの保護者の皆様が見守る中、生徒たちは磨き上げてきた歌声を精一杯披露することができました。クラス合唱を完成させることは並大抵のことではなく、長い道のりがありました。緊張しながらも練習の成果を発揮できて安堵の表情を浮かべる生徒たちと、それ以上にドキドキしながら生徒を見守る学級担任の姿に、校長として心からエールを送りました。

学年や学級ごとの行事も目白押しでした。

1年生は上野・浅草方面への校外学習を実施しました。鉄道を利用した班別活動を4年ぶりに復活させました。時間やルールを守り、事故もなく、有意義な学習となりました。

C組は宿泊を伴う「げんきキャンプ」が千葉市少年自然の家で行われました。今年度はキャンドルサービスで「火の子」という大役を務めることになり、大勢の他校の生徒が注目する中、堂々と役目を果たすことができました。

2年生は新たなキャリア教育の試みとして、千葉県内10か所の事業所から社員の方々に来ていただき、「職場交流授業」を行いました。働くことを前向きにとらえ、楽しそうに語る大人の姿を、生徒たちは食い入るように見ていました。

3年生は、保護者を交えた進路面談が行われています。実質的には最終の三者面談となり、受験する私立高校の決定の場となります。さらにこれからの日々は、学習を充実させつつも、進路先の選択、書類の作成と提出、受験本番、そして手続きなど、親子での協力が不可欠となるでしょう。

今年は各地でクマの被害が報告されています。冬ごもりを迎える前に栄養を蓄えるという意味では、私たちも同様なのかもしれません。これから迎える冬を前に、心と体を栄養で満たし、寒い季節に備えていきましょう。保護者や地域の皆様と手を携え、生徒たちを精一杯サポートし、厳寒期をと乗り越えていきたいと思えます。



今年も菊の花が立派に咲きました